

水 泳 静 岡

愛顔（えがお）つなぐえひめ国体〈第72回国民体育大会〉

☆総括☆

第72回 国民体育大会の結果について

総監督 寺田 政義

第72回国民体育大会が9月10日から16日の7日間で愛媛県松山市のアクアパレット松山特設プールで競泳・シンクロ、飛込は高知県立春野総合運動公園水泳場で、そして、オープンウォータースイミングは、北条長浜海水浴場で開催されました。本県は水球が国体東海予選会で他県に大きく離され予選敗退となり、4種類の参加となりました。

本年は、東京・神奈川・埼玉・大阪が総合得点で200点以上獲得し他県を大きく引き離す結果となりました。本県は、選手一人一人が静岡県代表としての自覚を持ち頑張りましたが、得点に思うように結びつく結果に至らず、目標の8位入賞を逃し、残念ながら76点11位に終わりました。

競技は、シンクロ競技から始まり、今年初めて、別々のクラブの中森真麻（静岡）・大木詩方（浜松）でデュエットを組むことになりました。国体前の大会もあり練習時間も他県より少なく大変でしたが、10位に入ったことは評価できると思います。しかし、東海地区も三重県が力をつけ、愛知、静岡、三重が僅差になっているので、今後は、早期からの国体ペアの強化と、次世代の選手育成が必要だと考えています。

OWSは、柚木穰と岡村瞳で臨みましたが、残念ながら両者ともに12位に終わりました。5キロの競技では、9位10位までの選手とそれ以後の選手の差があり、スピードと持久力が必要であると感じました。また、女子では、優勝者がOWSと競泳に参加していました。現段階では、競泳でも勝てる選手の出場が必要と感じました。

飛込は競泳と並行して高知県で開催されました。内藤が飛板8位・高飛込で6位



選手たちの健闘を称える寺田政義総監督

入賞、続いての山田は飛板で7位・高飛込で7位、そして萩田も高飛込で4位と出場3選手が入賞はしましたが、昨年の結果を上回ることができず、残念な結果に終わりました。飛込は、これから数年は次世代選手も育っており、安定した実力が発揮できると思いますが、今回の結果を踏まえてより一層の強化が必要です。

競泳競技は、白畑競泳監督を中心にチーム静岡としてまとめ、今治の直前合宿など屋外プールでの暑さ対策など準備を整えてきました。しかし、台風の影響で大会当日には水温が下がり最悪のコンディションでの戦いとなりました。成年男子は、長谷川を筆頭に実力をほぼ発揮してくれたと思いますが、少年男女については、松本や高野など活躍した選手もいましたが、実力を出せずに残念な結果に終わりました。今回は、初出場の選手が多く経験不足で不安もありました。それに加えて台風の影響で2日間開催になり調整が大変でした。しかし、どのようなコンディションの中でも結果を出せるのが、本当に強い選手であることを痛感しました。また、出場すれば得点をとれたであろう種目もあり、フルエントリーの必要性も感じました。そのためには、出場タイムに達していない種目の強化とトップ選手の強化の両方を同時進行させる必要があります。

水球は今回出場できませんでしたが、静岡の得点に大きく関わる種別です。女子水球を含め早めの育成・強化が急務です。

国体で8位以上の入賞のためには、100点以上が必要になります。各種別ともに安定した実力で確実に得点を獲得できる選手育成し、今後も国体で活躍できる強い水泳静岡を目指して強化して行きたいと思います。

最後になりますが、愛媛国体にご協力頂いたスタッフと選手の努力、そして、ご支援頂いた本連盟のみなさまのご協力に心より感謝申し上げます。

☆競泳☆

第72回愛媛国体を振り返って

少年男子監督 戸塚 雅晴

【少年男子得点 19点 (少年A 12点・少年B 7点)】

《選手選考について》

7月31日の選考会議にて、少年男子14名の選手を選出した。Aは戦える選手、Bは育成も視野に入れて、選考委員の意見も聞きながらベストな選考が出来たと思う。

《事前合宿について》

今年度は、9月6日から、3泊4日で一次合宿、9月11日から愛媛県今治市に移動して直前合宿を行った。一次合宿は富士水泳場にて質の高いトレーニングを行うことが出来た。

昨年は、リレーで引き継ぎ違反があったため、毎日リレーの引き継ぎ練習を行った。外のプールに慣れる目的で、一日だけ富士中学校のプールをお借りして練習を行った。水温が21度と低く、選手は不満を漏らしていたが、結果的にはこの経験が、国体本戦の悪天候に対応する場面で心理的に有利に働いた。2次合宿は、今治市波方

運動公園の外プールで行ったが、水質、水深、スタート台、宿泊施設の部屋割り（男子全員が大部屋）など決して良い環境とはいえなかったが、かえって選手間の絆は高まったように感じる。反省点としては、インターハイ、全中、JO が終わって、一週間でしっかり持久力のベースを回復させるようなトレーニングを行ってもらうように、各所属のコーチにお願いをすべきだった。ベースを回復させ、合宿を高いレベルで練習ができていた選手は、本番のレースでもベストかそれに近いタイムで泳ぐことができていた。

《チームづくりについて》

今年度は、高校3年生が2名と非常に少なくチーム作りの面で心配があったが、キャプテンとなった林君がリーダーシップを発揮してチームをまとめてくれた。女子のキャプテンの望月さんとコミュニケーションを取りながら責任を果たしてくれた。選手たちには、「出場で満足せずに決勝に残って賞状を持って帰ろう。」「ベストを出せば、必ずチャンスがあるからレースに向けて十分な準備をしよう。」と戸練コーチと共に繰り返し伝え、戦うチームづくりを目指した。

事前合宿においては、成年選手からの的確なアドバイスを受け、練習への取り組みを間近に見ることで少年選手にとっては貴重な経験となった。

《レースについて》

台風の影響で競技日程が短縮され、予定された競技順序も変更となりその対応に苦慮した。選手が動揺してマイナス思考に陥らないような伝え方をした。初日は、風は多少吹いていたものの、雨もまばらで水温も25度程度あったが、2日目は、雨量も多く水温も23度程であったと聞いた。選手には、とにかく身体を冷やさないように指示をした。

初日は、松本周也選手が400m個人メドレーで自己ベストを更新し3位入賞、4×200mリレーでは2年ぶりの決勝進出で7位入賞となった。メンバーの4名のうち3名が2年生ということ考えると来年度にも期待が持てる。2日目は、400m自由形で高野裕也選手が2位、200mバタフライで小林拓選手が5位に入賞した。決勝進出は逃したが9位が1種目、10位が2種目、11位が1種目、12位が2種目ということで、もう一步で得点に絡める可能性がある種目も複数あった。上山選手の100m自由形、松本選手の200m背泳ぎ、少年Aのメドレーリレーは、入賞の可能性があったために、ベストからタイムを落としてしまったのが残念だった。4×200mリレーは1分54秒前半、4×100mリレーは53秒台で選手を揃えれば、決勝進出の可能性が高い。メドレーリレーは、4種目揃えなければならないが、特に背泳ぎと平泳ぎが重要なので選手の発掘と強化が必要である。



少年男子A 400m個人メドレー
見事！3位入賞の松本周也選手

《まとめ》

今回の愛媛国体は、台風の接近と日程の変更という経験したことのないタフなコンディションであったが、選手たちは最後まで諦めることなくレースに取り組んでくれた。スタッフも白畑競泳委員長を中心に、コーチ・総務・トレーナー全員が密にコミュニケーションを取り、一丸となって戦うことができた。白畑委員長の気配りには毎回のことながら頭が下がる思いである。

今回はたまたま男子の選手の活躍が目立ったが、昨年からの強化合宿では、男女の区別なく私たち競泳委員が指導にあたってきたので、目標点数に届かなかったのだとすれば、委員会として全員で取り組みを見直さなければならない。また選手を指導するスタッフだけでなく、保崎さんを筆頭に裏方で仕事をして頂けるスタッフがいなければ、国体本戦はもちろんのこと、合宿さえままならないことを実感している。

国体の監督をやらせて頂いて3年目となったが、選手強化の基盤となる所属コーチあってこそそのチーム静岡である。感謝の気持ちを忘れずに自分のできる限りのことをしたいと思う。

最後に、県水泳連盟鳥居会長、寺田理事長、杉山競技力向上委員長には、このような機会を与えて頂いたことを感謝申し上げます。

愛媛国体をふりかえって

少年女子監督 伊石 晋司

【結果】

少年女子 A 100m自由形 望月 絹子 8位 1点

少年女子 A 400mフリーリレー 静岡県 7位 2点

(渡邊真衣、今村涼花、望月絹子、築地由莉亜)

＜選手選考について＞

薄い選手層の中からベストのメンバーを選出しました。今年の特徴は自由形の選手が大半を占める選考となりました。インターハイ200m自由形2位の望月絹子を中心に高校1年生の渡邊真衣をAに上げフリーリレーで上位を狙う布陣となりました。少年女子Bの選手たちはこれからの静岡の中心となり活躍が期待される者を経験値を上げる目的も踏まえ選考しました。

＜事前合宿について＞

全中・インターハイに続き全国J0と選手達は10日間余りを戦い国体合宿にのぞんだのですが、県・東海の予選では調子が良くても本番であるはずの全国で良くなかった者、インターハイで力を出し尽くし疲労の溜まっている者、国体本番までまだまだ強化が必



応援にも熱が入る♪♪♪

届け！泳者に！

要な者、と選手個々で状況が違っていました。国体事前合宿前の現在の状況をコーチも選手も把握し立て直す意味でも、JO直後の8月中の合宿が必要だった感がありました。今回の事前合宿には大学生と社会人が多数参加し、中学生や高校生たちに練習や本気で打ち込む姿を見せてくれたことは大きな収穫となりました。高校生がオリンピックにアドバイスを受けてたりする姿が見られました。

〈全体を通して〉

結果が全てである。どんな言い訳も通用しません。今回は屋外のプールで水温も低く台風の影響で競技日程の変更もあり、万全の状態とは程遠いコンディションの中での闘いでした。しかし同じ状況の中で日本記録を出す選手もいるし優勝する者もいる。今回、静岡県の子少年女子選手たちの力不足は歴然でベストタイムを出さなくても普通に決勝に残れるレベルの選手が大勢いなければ他県に太刀打ち出来ません。我々指導者は今回の結果を踏まえて、どんな条件でも自分の持っている力を発揮し結果の残せる強い選手の発掘と強化に打ち込まなければなりません。強い静岡を目指す決意の国体となりました。

今回、初めて国体に参加した選手の中でも加藤杏樹、中村菜々穂、松永爽羽、大池瑞姫、水野結由那など鍛え方によっては将来楽しみな選手達が多くいました。その選手達が何をどのように感じ、またそれを来年以降飛躍するための糧としてくれる事を期待したいと思います。

最後になりますが一年を通じ国体強化の為に最後まであきらめずに力を注いで頂いたスタッフの皆様、静岡県水泳連盟の皆様及び関係各所属団体の皆様には厚く感謝を申し上げます。

第72回愛顔つなぐえひめ国体の反省

成年監督 菊地 昌弘

【〈成年得点〉 男子 28点 女子 6点 合計 34点】



ベテラン勢 原選手と長谷川選手の入場

今年は男子の層が厚く、大会前より期待が持たれました。中でも長谷川純矢選手が優勝でき、金メダリストが成年から出てよかったと思います。メドレーリレーにおいても、県新記録で2位となり、みんなで来年は優勝しようという頼もしい言葉が聞けました。女子は昨年松本選手が一線から退くとありましたが、元気に復活しリレー参加や個人のレースも頑張ってくれました。今後は大学生中心に得点を重ねていかなければならないと思います。

大会期間中に県新記録 男子5種目 リレー2種目 女子1種目更新しました。

<事前合宿期間中>

今回は1次合宿の成年の参加者が7名あり、インカレ後でしたが大学生は筋トレから泳法のチェック、それからインカレのような緊張感を、もう一度国体であげられるような練習メニューをこなしました。社会人スイマーも各自筋トレやチューブ引き等、大会期間までの計画を練りながら少年とともに練習に取り組みました。愛媛県今治市直前合宿では、全員が合流して、選手紹介やミーティングも行い成年の輪を少しずつ固めていくことができました。練習は各自のメニューに任せ、大学生は先輩や社会人の選手にいろいろ聞いたり、相談したりしながら進めていきました。けがや体調不良もなく、本大会に臨めました。

<大会期間中>

期間中に台風上陸の関係で、急きょ3日間開催が2日間開催となり、このことが前日の木曜日の発表で、成年には日程が変更となり、練習予定なども変わり精神的にも少しダメージがあるかと思いましたが、一致団結し2日間精一杯頑張ろうということになり、大会に向かいました。大会の流れを先陣の小松選手の決勝進出から始まり、波に乗れるよう藤森兄弟をはじめ、予選から好タイムで決勝に残りました。決勝では順位こそ落としましたが、今後につながるよいレースが見れました。初めて国体に出場した高橋選手も予選9位と残念な結果でしたが、来年は必ず残りますと悔しさをばねにまた頑張ることと思います。その中でも長谷川選手の金メダルは成年の起爆剤となり、メドレーリレー2位につながっていったと思います。女子は松本選手の参加もありリーダーシップをとってくれましたが、決勝が1種目で過去からしてみると入賞がだいぶ減りました。松本・埜下選手以外は大学生なので、今後の強化により決勝進出選手が増えていくと思います。松本選手の大きな穴埋めをしていかなければなりません。2020年までは男子も選手が揃いますが、その次の世代のことも考えて強化をしていく必要があります。

大会の2日間は時間にもタイトなスケジュールでしたが、みんなで協力しうまくできていたと思います。会場の導線が、控え所である武道場からプールまで距離があったため、サブプール周辺での待機となりました。水温も低く、体の動かし方も各自工夫をしてドライトレーニングなどを行っていました。少年男女にも初日で終わった選手が、緊張を力に変えていくために声掛けもしていきました。応援は各自に任せていましたが、雨の中、みんなで支えあいながら出来ていました。

最後になりましたが、来年の福井国体に向けて計画は始まっています。指導者同士も報・連・相を大切にしてよい合宿や練習会を実施して、小学生からの強化対策や国体の目標も掲げ、一致団結していかなければならないと思います。水泳王国静岡に向けて良い芽はたくさんあります。うまく咲かせていけるようにこれからも頑張りたいと思います。成年選手に3名もオリンピックがいますので、今後もその強化策や、国体での活躍の勢いを続けたいと思います。

県水連関係各位様、愛媛国体スタッフ様、ご尽力下さいました皆様、ご指導ご協力ありがとうございました。

☆シンクロナイズドスイミング☆

愛顔つなぐ えひめ国体

シンクロナイズトスイミング競技 監督 中森 基明

2017年9月10日、アクアパレットまつやま特設プールにてシンクロ演技が行われました。

選手は、イールシンクロ浜松 大木詩方(浜松学芸高3年) 中森シンクロクラブ 中森真麻(城南静岡高2年)。今回初めて別のクラブの選手が選ばれデュエットを組むことになりました。このことは予想されていたので、今回は仮選考会を前年度より早い時期に行い早くから国体に向けての練習を開始し、合宿も回数を増やし強化していきました。

別のクラブの選手が組むのは、カウントのとり方や合わせ方など違うところが多くありましたが、あべ木コーチの細やかな気持ちの入った指導で回を重ねる毎に、合うようになっていきました。

大会では10位となり目標としていた8位入賞は逃してしまいましたが、今できる精一杯の演技ができたと思います。今後も入賞を目標に県として普及・強化していきたいと思います。

今回参加するにあたり多くの皆様にご支援とご協力を賜りましたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

テクニカルルーティン	72.8607点	
フリールーティン	75.4667点	
合計	148.3274点	10位



チーム シンクロ♪♪♪



みなさま お疲れさまでした！
来年の福井大会でも 多くの感動を
期待しています！ガンバレ！静岡！

委員 会 情 報

※各委員会より寄せられました情報を掲載いたします♪

★競泳委員会★

強化選手が決定いたしました！今回指定された強化指定選手は次の通りです。

<男子>

No.	選考	氏名	学校名	学年	所属SC	種目
1	トップアスリート	林 正人	飛龍高	3	東部SS	バタフライ
2	ターゲット	上山 達也	飛龍高	2	東部SS	自由形(短)
3	ターゲット	小林 拓	浜松市立高	2	グリーン高台	バタフライ
4	ターゲット	稲葉 亮介	磐田農業高	2	エスポ袋井	バタフライ
5	ターゲット	松本 周也	伊東高	2	伊東SS	個人メドレー
6	ターゲット	高野 裕也	浜松市立高	1	エスポ	自由形(中)
7	ターゲット	湊 太陽	浜名高	1	グリーン高台	自由形(長)
8	ターゲット	松葉 柊哉	浜名高	1	浜松SC	バタフライ
9	トップアスリート	井上 颯	浜松日体中	2	エスポ	平泳ぎ
10	トップアスリート	杉山 大晟	静岡東中	1	セイシン千代田	個人メドレー
11	ジュニア育成・強化	北木 義仁	日大三島高	2	東部SS	自由形(短)
12	ジュニア育成・強化	羽二生 凌	富士東高	2	東部SS	平泳ぎ
13	ジュニア育成・強化	村田 迅永	飛龍高	1	東部SS	自由形(短)
14	ジュニア育成・強化	松村希良軌	浜名高	1	掛川SS	自由形(短)
15	ジュニア育成・強化	釜田 起来	静岡市立高	1	レオリブレ	平泳ぎ
16	ジュニア育成・強化	小林 亮	掛川工業高	1	-	自由形(短)
17	ジュニア育成・強化	門間 昂汰	浜松雄踏中	2	グリーン佐鳴台	バタフライ
18	ジュニア育成・強化	釜田 駿	清水庵原中	2	レオリブレ	平泳ぎ
19	ジュニア育成・強化	植屋 日志	県立浜松西中	2	磐田カルチャー	個人メドレー
20	ジュニア育成・強化	柴田 大輝	県立浜松西中	1	グリーン佐鳴台	自由形(短)
21	ジュニア育成・強化	押尾 駿太	静岡賤機中	1	セイシン葵の森	自由形(中)
22	リレー強化	大坂 岳巳	湖西鷺津中	3	浜名湖SS	自由形(短)
23	リレー強化	廣橋 諒人	湖西鷺津中	2	浜名湖SS	背泳ぎ
24	リレー強化	中西 豊太	飛龍高	2	ルネ沼津	背泳ぎ
25	リレー強化	杉本 蓮樹	伊東高	2	伊豆SS	背泳ぎ
26	リレー強化	工藤 和輝	静岡東中	3	レオリブレ	平泳ぎ
27	リレー強化	原崎 伊織	焼津大富中	3	T-123	バタフライ
28	リレー強化	杉原 響紀	藤枝青島中	3	T-123	個人メドレー

<女子>

No.	選考	氏名	学校名	学年	所属 SC	種目
1	トップアスリート	望月 絹子	清水桜が丘高	3	とこは S S	自由形
2	ターゲット	今村 涼花	静岡雙葉高	2	グランツ	自由形(短)
3	ターゲット	渡邊 真衣	星陵高	1	R S C エムテック	自由形(短)
4	ターゲット	中村菜々穂	浜松入野中	3	B I G 棒屋	自由形(短) /個人メドレー
5	ターゲット	松永 爽羽	静岡観山中	3	とこは S S	自由形(短)
6	ターゲット	桐山 佳穂	浜松東部中	3	—	背泳ぎ
7	ターゲット	水野結由那	湖西岡崎中	3	浜名湖 S S	平泳ぎ
8	トップアスリート	伊藤亜香利	湖西鷺津中	2	浜名湖 S S	背泳ぎ
9	トップアスリート	山田 茅帆	県立浜松西中	1	B I G 棒屋	自由形(短)
10	ターゲット	築地由莉亜	城南静岡高	2	とこは S S	自由形(短) /個人メドレー
11	ジュニア育成・強化	山口みどり	静岡商業高	2	焼津チャンプ	平泳ぎ
12	ジュニア育成・強化	加藤 杏樹	静岡商業高	1	島田チャンプ	自由形/背泳ぎ
13	ジュニア育成・強化	木村 香純	飛龍高	1	東部 S S	自由形(長)
14	ジュニア育成・強化	星野 允里	浜松日体高	1	グリーン高台	自由形(長)
15	ジュニア育成・強化	山本実ノ里	浜名高	1	グリーン佐鳴台	バタフライ
16	ジュニア育成・強化	水野 夏南	日大三島高	1	裾野 S S	バタフライ
17	ジュニア育成・強化	城井 貴布	浜松市立高	1	浜名湖 S S	個人メドレー
18	ジュニア育成・強化	大池 瑞姫	静大附属静岡中	3	グランツ	自由形(短)
19	ジュニア育成・強化	猪股萌々花	袋井浅羽中	3	袋井 S C	自由形(中)
20	ジュニア育成・強化	疋田亜莉菜	浜松開成中	3	グリーン高台	平泳ぎ
21	ジュニア育成・強化	鈴木 志保	浜松新津中	2	B I G 棒屋	自由形(短)
22	ジュニア育成・強化	磯江月希乃	富士中	1	富士 S T	自由形(短)
23	ジュニア育成・強化	柴本 真衣	榛原中	1	エースワン	平泳ぎ
24	ジュニア育成・強化	大塚 華蓮	静岡豊田中	1	セイシン千代田	個人メドレー
25	リレー強化	小粥 彩加	県立浜松西中	3	BIG 棒屋	バタフライ

<小学生>

No.	選考	氏名	学校名	学年	所属 SC	種目
1	小学生強化・男子	増田 莉蔵	浜松入野小	6	グリーン佐鳴台	自由形
2	小学生強化・男子	妹尾 祐聖	小山明倫小	6	東富士 SC	背泳ぎ

3	小学生強化・男子	神野 渉	焼津大井川小	6	T-123	平泳ぎ
4	小学生強化・男子	中西 春稀	富士今泉小	6	RSC エムテック	バタフライ
5	小学生強化・男子	大木 優瑠	伊豆修善寺小	6	伊豆 SS	個人メドレー
6	小学生強化・女子	鈴木 月渚	沼津愛鷹小	6	東部 SS	自由形
7	小学生強化・女子	中島 芽郁	清水清水小	6	ルネサンス沼津	背泳ぎ
8	小学生強化・女子	山本 真由	焼津小川小	6	T-123	平泳ぎ
9	小学生強化・女子	秋山 紗希	浜松河輪小	6	マコト SC 浜松	バタフライ
10	小学生強化・女子	鈴木 樹里	焼津焼津西小	6	焼津チャンプ	個人メドレー

★普及委員会★

☆公認水泳指導員研修会☆

＜日時＞ 2018年2月4日（日）9:00～16:00

＜場所＞ 静岡県立水泳場

＜申込締切＞ 2018年1月10日（水）

＜講師＞ 鈴木 陽二 氏、渡辺 一樹 氏

＜受講料＞ 5000 円

オリンピック選手を数多く育てた一流コーチとオリンピックに直接指導
していただける貴重な機会です。

資格更新年度でない指導員の方もぜひご参加ください。

★飛込委員会★

伊熊扇李 世界へ向けて前進

今年度も伊熊扇李（浜松学院中1年）が期待に応える活躍を見せた。

まず、全国中学で1年生ながら飛板飛込・高飛込の両種目で優勝し、勢いに乗ると、続く全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季大会（男子12～13歳）でも、飛板飛込・高飛込の両種目で優勝。高飛込では2位に100点以上の大差をつけての快勝であった。この高飛込で400点台という驚異的な得点を叩き出し、昨年は獲得できなかった最優秀選手を獲得。格の違いを見せつけた。

そして、伊熊にとって初めてとなる国際大会、アジアエージグループ選手権では、1m・3mの飛板飛込とともに2位、高飛込で優勝と大活躍。海外未経験のハンデをものともせず、飛込大国の中国の選手たちと戦い、互角以上の成績を収めた事は、来年の世界ジュニア選手権に向けて自信になったはずだ。



国内の同世代では敵なしの伊熊の当面の目標は、来シーズンの世界ジュニア選手権で金メダルを獲得することと、すでにその目は世界に向いている。

しかし、世界のジュニアは年齢が上のグループに上がると一気にレベルアップしてくるので、そこで戦うにはさらなるレベルアップが迫られる。その為には、高難度種目の習得や、成長し続ける身体に適した筋力や柔軟性の向上が不可欠だ。

この先はこれまで以上に厳しい戦いが待ち構えているが、来シーズンの彼の活躍を楽しみに待つとともに、伊熊に刺激を受けた県内の選手達の奮起にも期待したい。

★障がい者委員会★

わかふじスポーツ大会の報告

障がい者委員会 藤井 祐三

去る10月8日、静岡県障害者スポーツ大会の一競技である「わかふじスポーツ水泳大会」を選手153名の参加を得て、静岡県富士水泳場で開催し、無事終了したことを報告するとともに、ご協力いただいた競技役員の皆様には、競技のみならず、準備から片付けまでご尽力いただき厚く御礼申し上げます。



みなさまのご協力のもと…

障がい者委員会としては、こうした大会を通じて、静岡県の障がい者水泳を2020年の東京パラリンピックにつなげたいと思いますので、引き続きご支援、ご協力をお願い致します。

全国障害者スポーツ大会

「愛顔（えがお）つなぐえひめ大会」報告

10月28日（土）～30日（月）の3日間の日程で、松山中央公園「アクアパレットまつやま」にて行われました。静岡県在住の代表選手として、池田伊吹選手（藤枝市）、津田悠太選手（御殿場市）、森晴毅選手（三島市）、長濱一徳（磐田市）選手、山本智史選手（裾野市）、村上貴則選手（静岡市）、河原崎秀弥選手（静岡市）、宮本翔平選手（浜松市）、永井さやか選手（浜松市）、合計9名の選手が出場いたしました。結果は以下のとおりです。

女子 25m 自由形	永井さやか（壮年・区分27）2位
男子 25m 背泳ぎ	森 晴毅（青年・区分27）3位
	河原崎秀弥（青年・区分27）2位
男子 25m バタフライ	長濱 一徳（青年・区分27）4位
	河原崎秀弥（青年・区分27）3位
	山本 智史（少年・区分27）6位
女子 50m 自由形	永井さやか（壮年・区分27）1位



次につながる大きな一歩♪

男子 50m 自由形	宮本 翔平 (1部・区分 07) 2位	
	津田 悠太 (1部・区分 26) 1位	
	池田 伊吹 (1部・区分 26) 4位	
男子 50m 平泳ぎ	村上 貴則 (1部・区分 01) 1位	
	宮本 翔平 (1部・区分 07) 1位	大会新
	池田 伊吹 (1部・区分 26) 2位	
男子 50m 背泳ぎ	村上 貴則 (1部・区分 01) 1位	大会新
	森 晴毅 (青年・区分 27) 3位	
男子 50m バタフライ	津田 悠太 (1部・区分 26) 1位	大会新
	長濱 一徳 (青年・区分 27) 3位	
	山本 智史 (少年・区分 27) 7位	

この大会は、競技力とともに、地域の方々との交流をも重視している大会です。今年も地元愛媛県の方々の温かいサポートのもと、無事にそして楽しく大会を終了することができました。選手は、自己の目標に向け、試合前のアップから真剣に取り組み、見事目標を達成しました。また、記録や成績以外のところでも大きな成長を見せた有意義な大会となりました。今後につながる大きな一歩だと思えます。応援いただきましたみなさま、ありがとうございました。

一般社団法人静岡県水泳連盟広報誌

水泳静岡

2017年11月5日発行 第12号

発行所 一般社団法人静岡県水泳連盟

静岡市駿河区南町5-25才茂ビル2F

電話 054-283-6758

FAX 054-280-1340